

NLE Yokohama		Sakura 6 Plus 取り扱い説明書-製品概要編	Technical Catalogue	
April 1, 2010			T 001 294 J	
CS SK	Ver. 03		Page	1 / 29

NLE

YOKOHAMA JAPAN

Nippon Lifts Engineering Inc.

遠隔監視装置
Sakura 6 Plus

技術基準適合認定番号
A08-0133004

適用型番

DS6B-P-***	Sakura 6 Plus PHSタイプ
DS6B-M-***	Sakura 6 Plus Modemタイプ
DS6B-MM/BM-*	マルチプレックス/ビルディングオプションタイプ

注) 型番の***は、オプションを表す英字になります。
 例: DS6B-P-ABN PHS;外部アンテナ;バッテリー付き
 例: DS6B-MM-B マルチプレックス;バッテリー付き

改版履歴(1/1)

Version	日付	作者	項目
p0	2010/03/01	SK	Sakura6 Plus Ver1 pre release
00	2010/04/01	SK	Sakura6 Plus 現場向けマニュアル編集
01	2010/06/30	SK	一部記載変更、文章修正
02	2010/07/7	SK	現場向け表記に一部変更
03	2010/08/1	SK	P20インターホンアラーム発報フロー記載

目 次

1. 概要	5
1.1 遠隔監視装置	5
1.2 遠隔保守装置/遠隔診断	5
1.3 遠隔操作装置	5
1.4 本装置の特徴	5
2. 構成	6
2.1 メインモジュール	6
2.2 メインモジュール+ビルディングオプション	6
2.3 メインモジュール+マルチプレックス	7
2.4 メインモジュール+マルチプレックス+ビルディングオプション	8
3. コールセンター受信装置構成	9
3.1 ライト版(Lite Type)一例	9
3.2 エンタープライズ版(Enterprise Type)	10
4. 機能	11
4.1 ハード機能	11
4.2 非常通報装置	13
4.3 データ発信制御	16
4.4 着信制御	19
4.5 インターホン押し下げ発報制御	20
4.6 DTMFコマンド	21
4.7 機能表	22
5. 製品形態	26
6. 技術情報	27
7. 特記事項	29
8. 関連資料	29

はじめに

- ・ご利用いただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保存して下さい。
- ・この製品は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
- ・また本装置の保証サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではご利用できませんのでご了承下さい。

注意事項

- ・本機器を不法改造すると法令により処罰されることがあります。
- ・本機の技術基準適合証明ラベルや製造番号をはがさないで下さい、効力を失ったりして使用できなくなる場合があります。

免責

- ・本書の内容に関しては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点があれば、弊社カスタマーサービスまでお問い合わせ下さい。
- ・また上記に関わらず、以下の事柄については弊社はいっさい責任を負いません。
 - 本製品に付随する、または運用の結果もたらされたいかなる損害。
 - 本製品によりもたらされるべき、直接的、間接的な効果および利益の損失。
 - 本製品のために費やした時間、経費。
 - 弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合など。
 - 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損。
 - 本製品をご使用になって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常。
- ・弊社は、製品および本書を改訂し、随時その外観・内容のすべてを変更する権利を有します。またその際に、改訂または変更をいかなる個人または団体に対して通知する義務を負いません。

著作権

- ・本書は弊社が著作権を有します。
- ・本書の一部または全部について、弊社の書面による承諾を得ない以下のことを禁じます。
 - 形式または手段を問わず複製・複写・転載すること。
 - 派生物(翻訳・変形・改作・流用)を作成すること。

1. 概要

はじめに

NLE遠隔監視装置「Sakura6 Plus」は、エレベーター専用遠隔装置です。万が一かご内に閉じ込められた際に非常時通話装置並びに監視信号の異常を検出し発報が起動されコールセンターとの通話と報発が可能です。また、接続されるシリアル通信や設備監視信号によって監視可能な点数を増やしたりコールセンターからの遠隔操作を行う事で端末装置リレーを動作させる事が出来ます。

1.1 遠隔監視装置

各エレベーターの運行状態において予め定めた異常信号または各種信号を24時間365日、常時監視し、異常発生の際には自動的に電話回線を介してエレベーター保守会社のコールセンターへ直接その異常を通報します。

また、閉じ込め故障に際しては乗客の非常呼びボタンの操作によりインターホン、電話回線を經由してコールセンターのサービス員と直接通話が可能となります。

1.2 遠隔保守装置/遠隔診断

上記の遠隔監視機能に加えて、エレベーターの利用が少ない時間帯を選んで、自動点検運転を行い、性能を診断。保守点検のためのエレベーター休止時間を減らし、ご利用者に極力ご不便をおかけしません。

1.3 遠隔操作装置

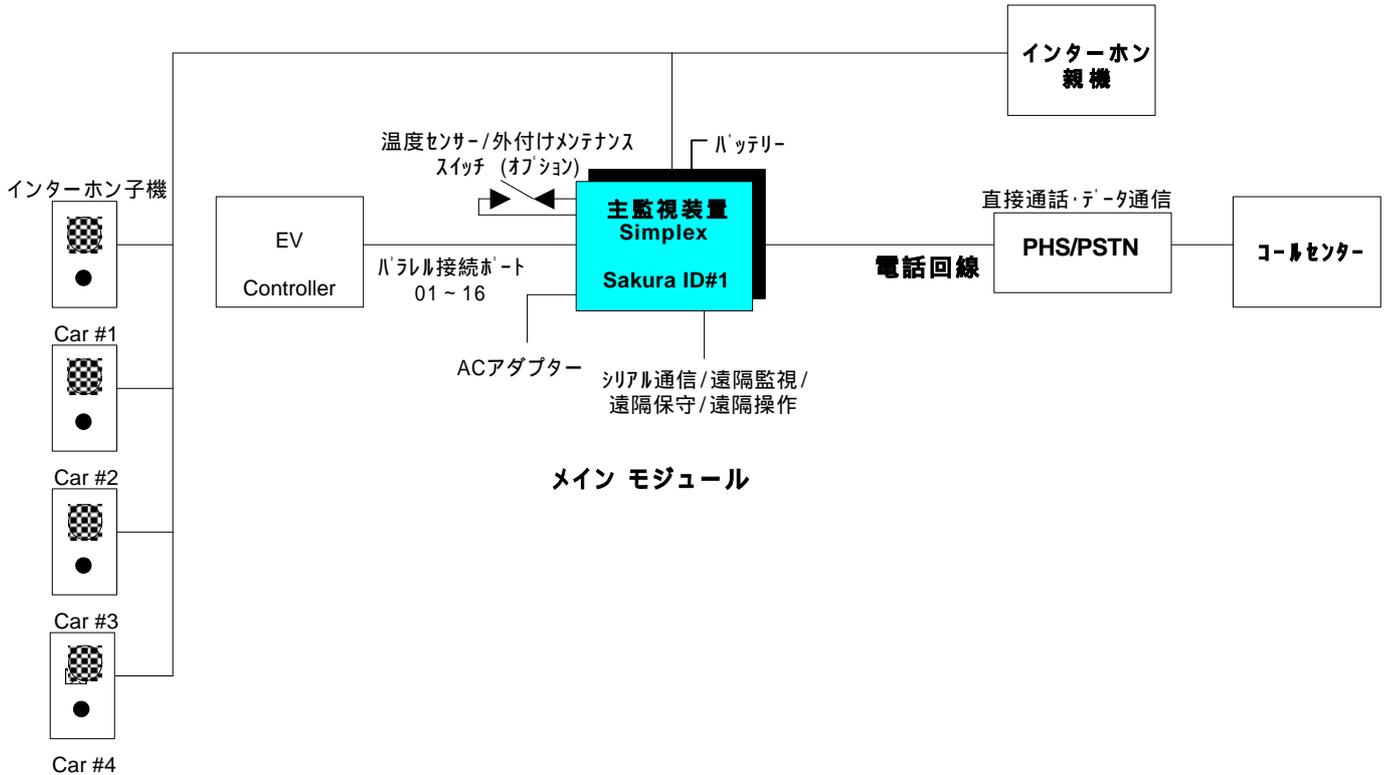
コールセンターからの遠隔操作により端末装置リレーを制御する事が出来ます。その操作により、予め用意された管制運転などを作動させる事が可能です。

1.4 本装置の特徴

- ・非常時自動通話装置。
- ・PHSモジュール内蔵。(PHSタイプ:DS6B-P-***)
- ・日本インターフォン社製 標準インターホンに1台で対応(オール イン ワン)。
6V単局、6V多局(4局)、24V単局、24V多局(4局)。
- ・DTMF信号による通信用パラメータの遠隔設定が可能。
- ・かご内向けアナウンスの遠隔録音、確認再生が可能。
- ・現場名の遠隔録音、確認再生が可能。
- ・各種情報を音声でアナウンス。
(Taroid、かご号機番号、パラメータ設定値 etc)
- ・メインモジュール
監視信号入力16点/台(標準)、接点出力2点、接点入力2点(特殊)、温度センサー1点、
外付けメンテナンススイッチ1点(オプション)、設備監視ポート16点/台(ビルディングオプション)
- ・マルチプレックスモジュール(増設基板)
最大エレベーター4台までマルチプレックスモジュールで対応。
監視信号入力16点/台(標準)、接点出力6点、接点入力2点(特殊)、温度センサー1点、
外付けメンテナンススイッチ1点(オプション)、設備監視ポート16点/台(ビルディングオプション)

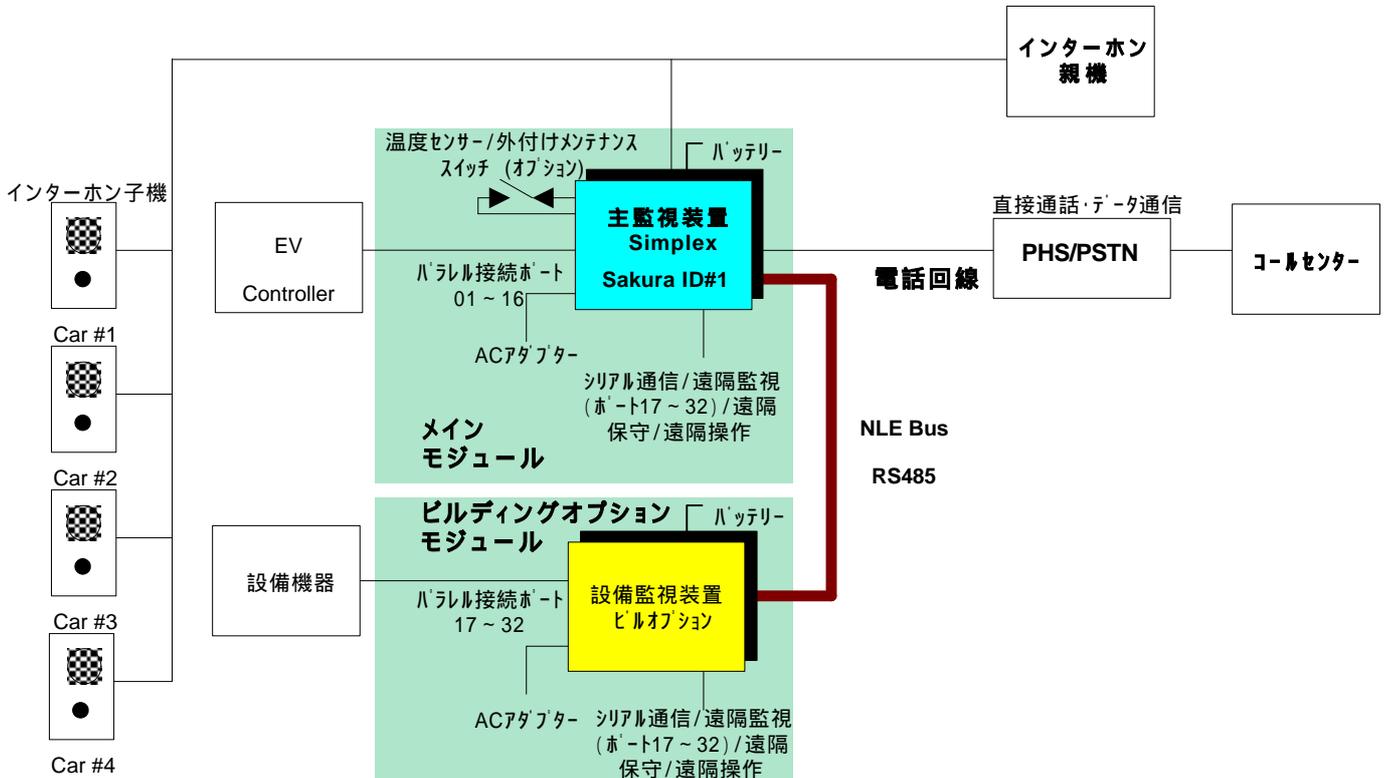
2. 構成

2.1 メインモジュール(1~4台のEVに対して主監視装置1台(監視点数16点))



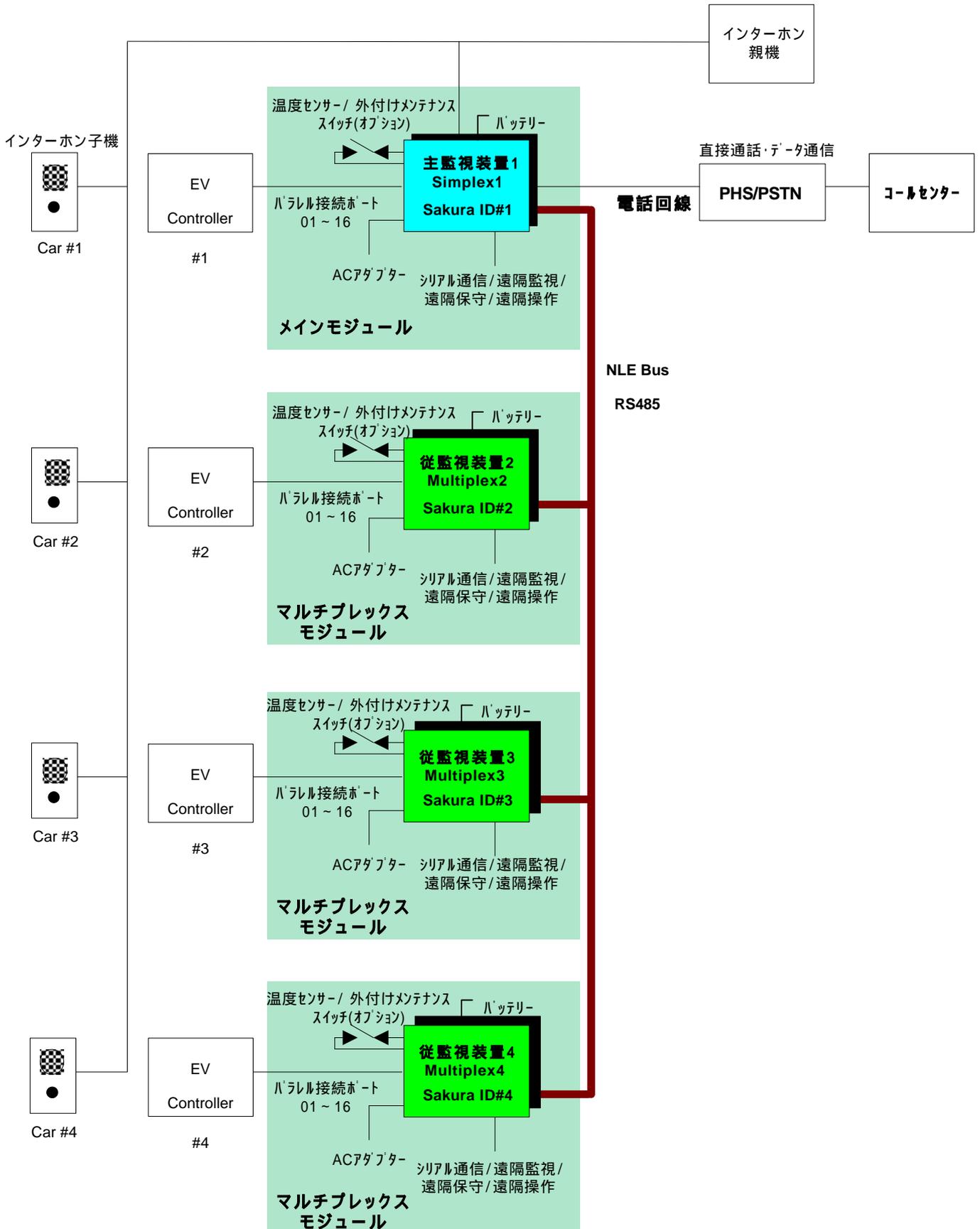
2.2 メインモジュール+ビルディングオプション

(1~4台のEVに対して主監視装置1台(監視点数16点)+設備監視装置(監視点数16点))



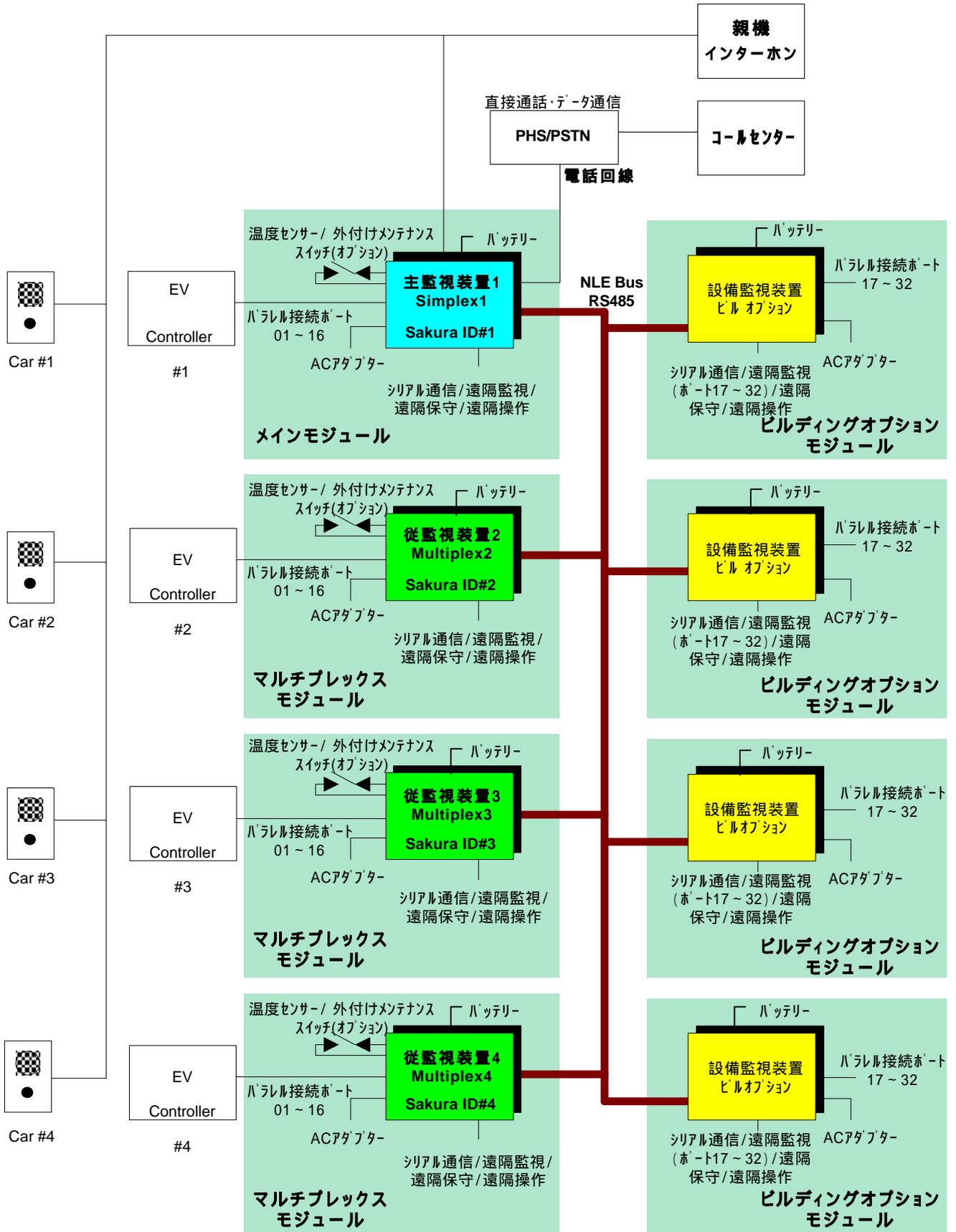
2.3 メインモジュール+マルチブックス

(1~4台のEVに対して主監視装置1台(監視点数16点)+従監視装置3台(監視点数48点)



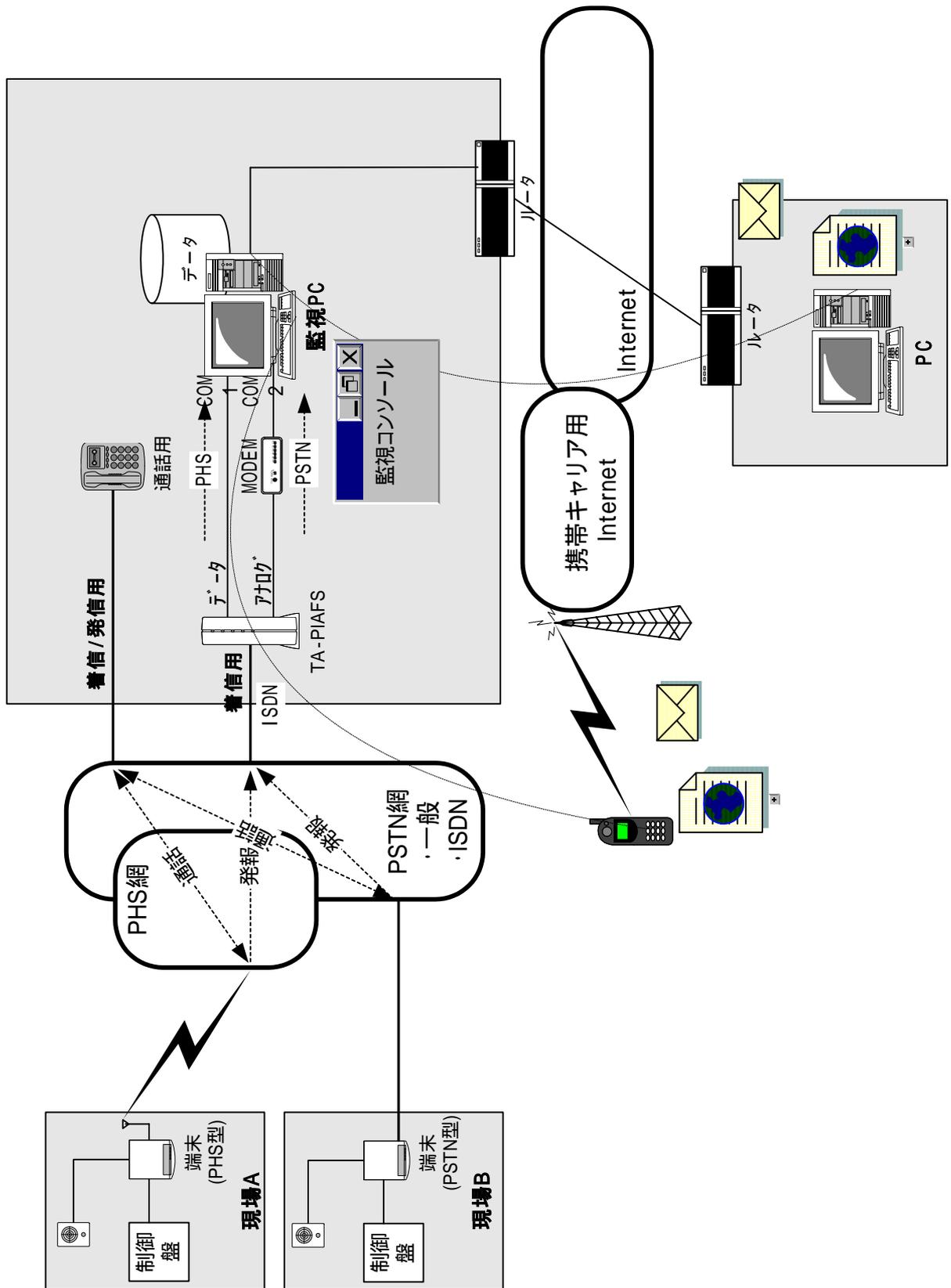
2.4 メインモジュール+マルチプレックス+ビルディングオプション

(1~4台のEVに対して主監視装置1台(監視点数16点)+従監視装置3台(監視点数48点)+設備監視4台(監視点数64点))



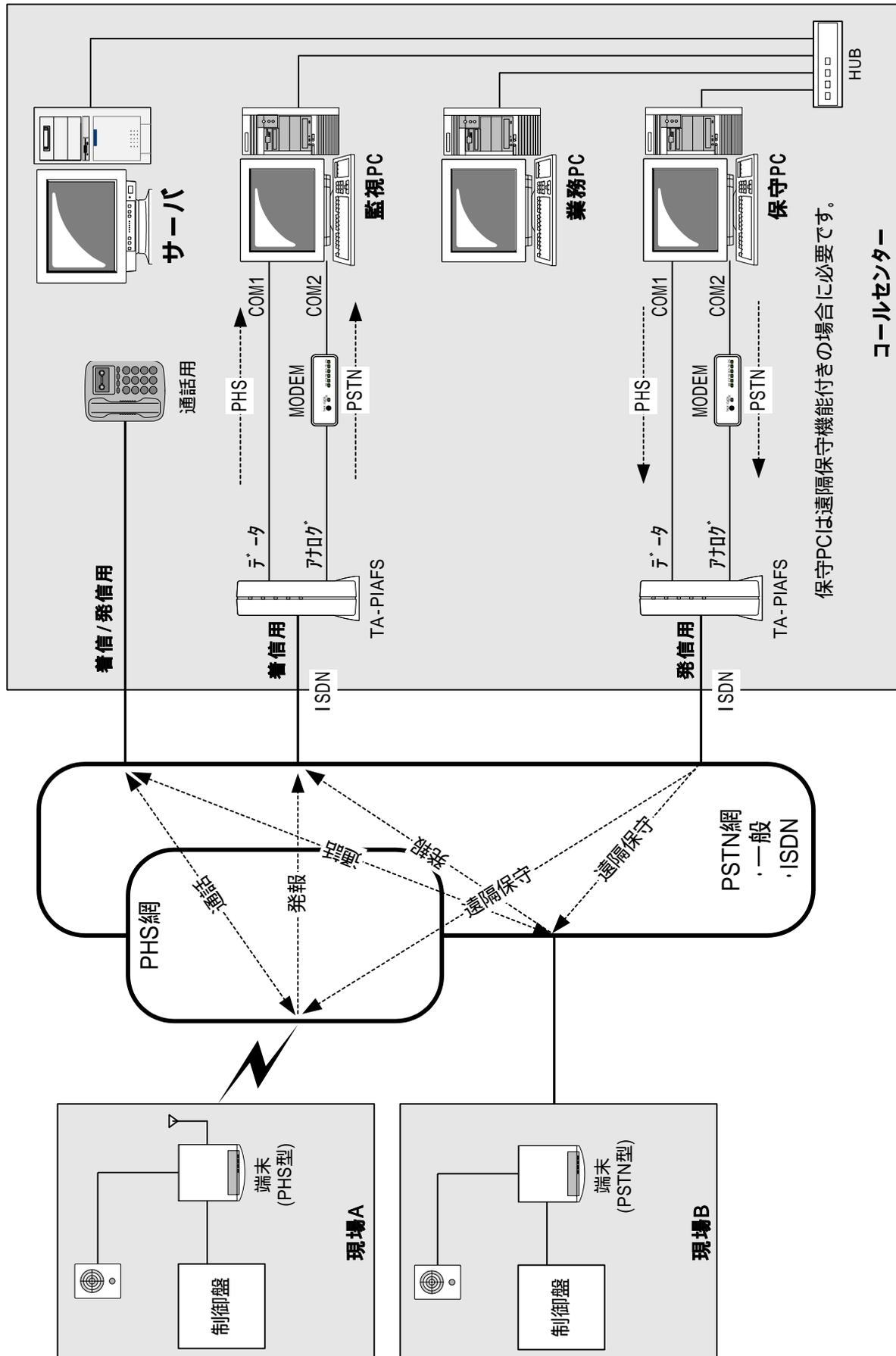
3. コールセンター受信装置 構成

3.1 ライト版(Lite Type)一例



装置構成、接続図 (Modem) 一例

3.2 エンタープライズ版(Enterprise Type)一例



装置構成、接続図 (Modem) 一例

4. 機能

4.1 ハード機能

1) インターホン部

a. 1台で下記に示す日本インターフォン社製インターホンに対応(オールインワン)。

表4.1-1 対応するインターホン

製造メーカ	種類		親/子	型番	接続数	備考
日本インターフォン	6V	単局	親機	E-01MV/E-01MV2	1	
			子機	E-01RV(C)	1	
		多局	親機	E-06MV(2)	1	
			子機	E-06RC(C)	1 ~ 4	
	24V	単局	親機	EZ-01MV(2)	1	
			子機	EZ-RV(C)	1	
		多局	親機	EZ-05(10)MV	1	
			子機	EZ-RV(C)	1 ~ 4	
アイホン	-	-	-	-	-	未対応
ナショナル	-	-	-	-	-	未対応

b. 接続するインターホンの種別指定は基板上のディップスイッチにて行う。

6V or 24V ; 単局 or 多局

c. 子機側マイク音量調整用ボリューム付

d. 子機側スピーカー音量調整用ボリューム付

2) 外部通信回線

a. PHSタイプもしくはModemタイプを使用する。

DS6B-P-*** PHSタイプ

DS6B-M-*** Modemタイプ

b. Modemタイプの場合のダイヤル種別

- PB(TONE)

- DP(10PPS ; 20PPS)

(構内交換機(PBX)には対応していません。)

3) 電源

a. ACアダプター使用(AC100V入力 / DC9V出力)

b. 停電保障用バッテリー付(30分保障)

c. DC9V入力端子付き

4) LED

- a. プログラム処理状態表示用LED × 4 (赤・黄・黄・赤)
 - ・初期化中; 自己診断中; 運用中
 - ・回線状態 (空き; 発信; 着信)
- b. PHS状態表示用LED × 2 (赤・緑 × 2)
 - ・電波状態 (信号強度)
 - ・回線状態 (空き; 発信中/着信中; 通話中)

5) 監視信号入力

- a. パラレル接続16点の信号を監視。(メインモジュール/マルチプレックスモジュール/ビルディングオプション)
- b. パラレル接続AC/DC 入力、全波整流回路内蔵。
- c. 16点中2点は230V監視専用。
- d. 16点中14点はジャンパーピンにより入力電圧を選択可能。
12V ; 24V ; 48V ; 135V
- e. 全ポート独立、フォトカプラ絶縁、抵抗ヒューズ付き。
- f. シリアル接続信号を監視。

6) 接点出力信号

- a. 主基板2点 + ポート増設基板4点の計6点実装。
- b. MOSリレータイプ Max150V 100mA

7) メンテナンススイッチ

- a. 主基板上にSW2ボタン実装。(標準)
- b. 外付けメンテナンス スイッチ。(オプション)

8) 温度センサー

- a. 温度センサー(オプション)。メインモジュール並びにマルチプレックスモジュールに接続可能。

4.2 非常通報機能

4.2.1 動作概要

非常通報要因を検出した場合、自動的にコールセンターに接続します。

1) 非常釦の押下検出

- a. 非常釦検出時間(*1)で指定した時間非常釦の押下が連続すると非常釦押下検出とします。
- b. 6Vの場合、子機スピーカーに対してフィードバック用のブザー音を出力(6Vのみ)
 - 非常釦の押下中は、連続音を出力します
 - 非常釦を規定時間後に離すと、断続音を出力します
 - 非常釦を規定時間以内に離すと、無音に戻ります

2) かが内アナウンスの再生

- a. 非常釦の押下検出後、親機応答待ち時間(*2)を経過すると「かが内アナウンス」を再生します。
- b. 「かが内アナウンス」の再生と同時にコールセンターに発信します。

3) Taroid(*3)の通知

- a. コールセンターが応答すると、Taroid通知方法(*4)に従ってTaroidを通知します。
 - 通知しない
 - DTMF音で通知する
 - 音声で通知する
- b. Taroidが未登録の場合は、通知しません。
- c. Taroidの通知処理後、インターホンとコールセンター側電話機で通話が可能になります。

4) 通話

- a. 規定の通話時間(*5)になると本装置は自動的に電話回線を切断します。
- b. 警告時間(*6)になると本装置は自動切断警告を音で通知します。
- c. 別項で述べるDTMFコマンドを使用してパラメータの設定が可能。
- d. "#*"を入力することで「現場名アナウンス」を再生します。

5) 発信中止

- a. 以下の場合はコールセンターへの発信を行いません。
 発信モード(*7)の設定内容が「親機が応答した場合は発信しない」でかつ
 親機応答待ち時間以内に親機が応答した場合。

6) インターホンアラームの発報

- a. インターホンアラームの優先順位(*8)で指定したタイミングで発報します。
 - データ1st、音声2nd インターホンアラームを発報した後に、音声通話で発信します。
 - 音声のみ インターホンアラームは発報しません、音声通話で発信します。
 - 音声1st、データ2nd 音声通話で発信した後に、インターホンアラームを発報します。

7) 現場名アナウンス

- a. 現場名アナウンスが録音されている場合は、コールセンター接続後に自動/手動で自動再生します。

*1非常釦検出時間	標準 2 秒	設定ツールで設定可能
*2親機応答待ち時間	標準 6 秒	設定ツール、DTMFコマンドで設定可能
*3Taroid	標準-未登録	設定ツール、DTMFコマンドで設定可能
*4Taroid通知方法	標準-音声通知	設定ツールで設定可能
*5通話時間	標準 4 分	通話延長操作する事で最大8分の通話が可能
*6警告時間	標準 10 秒前	
*7発信モード	標準-常に発信	設定ツール、DTMFコマンドで設定可能
*8優先順位	標準-データ1st	設定ツールで設定可能

4.2.2 発信制御

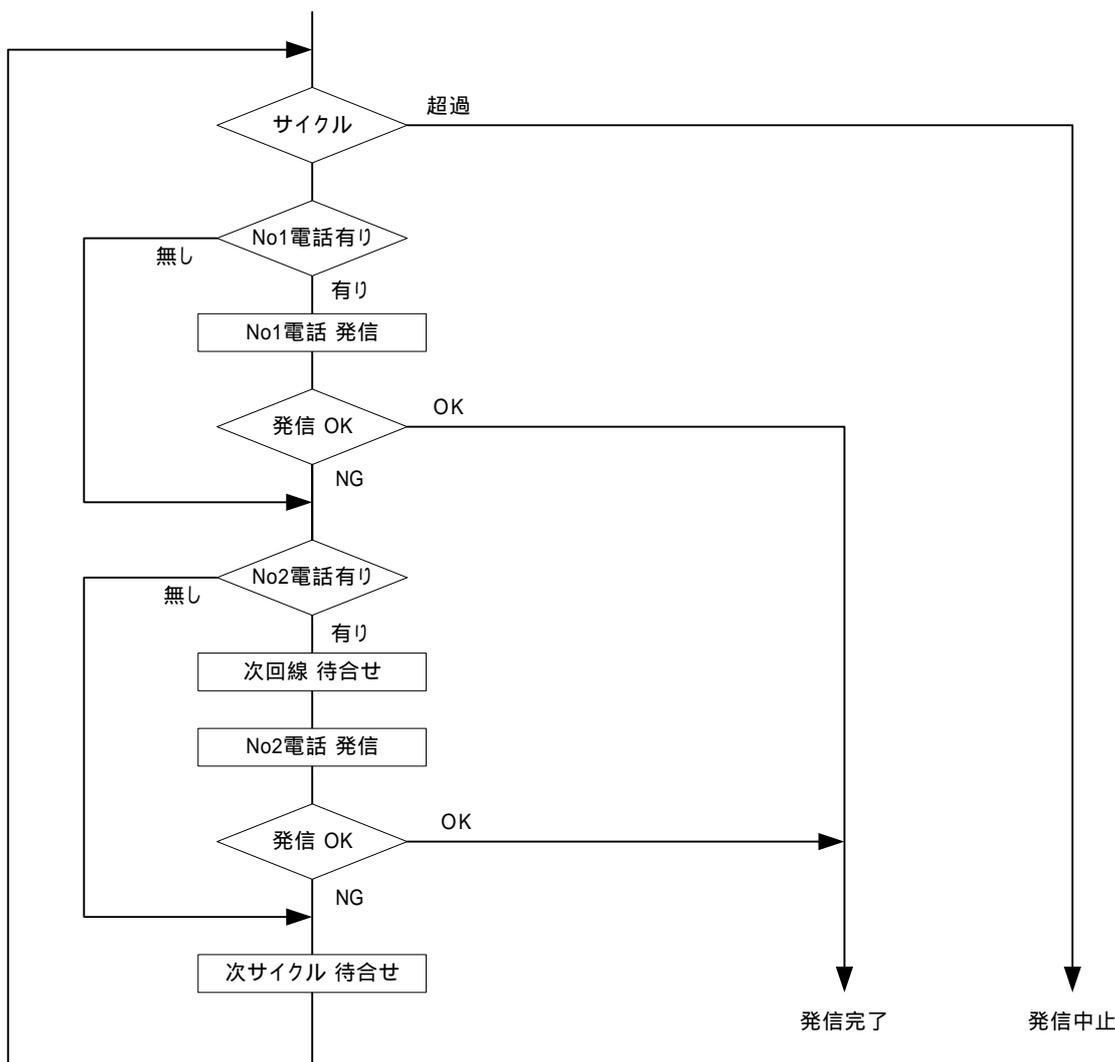
1) 複数箇所の発信先電話番号

- a. 最大5箇所のインターホン非常通話用発信先電話番号を登録可能です。
- b. 1箇所あたり20桁の電話番号を登録可能です。
- c. 電話番号には数字('0' - '9')と'#'が指定可能です。
- d. '#'は電話番号の桁間のポーズ時間(3秒)として処理します。

2) 発信の再試行

- a. ダイヤル後、以下の状態の場合は再試行を行います。
 - 話中(回線ビジー、相手使用中)
 - 規定の応答待ち時間(*1)以内にコールセンターが応答しない
- b. 登録されている複数の電話番号のすべてに対して発信することをサイクルと呼びます。
- c. 再試行は規定サイクル(*2)で指定された回数行い、それでもダメな場合は中止します。
- d. 電話番号間は次回線待ち時間(*3)で指定された待ち合わせをします。
- e. サイクル間は次サイクル待ち時間(*4)で指定された待ち合わせをします。

- *1 応答待ち時間 標準 30 秒
- *2 規定サイクル 標準 4 サイクル
- *3 次回線待ち時間 標準 30 秒
- *4 次サイクル待ち時間 標準 30 秒



4.2.3 子機スピーカー制御

1) 特定機種(エレベーター制御装置)における"親機応答"認識について

- a. インターホンシステム装置は親機の応答で子機スピーカーのON制御を行っています。
- b. 特定エレベーター制御装置は子機スピーカーのON信号で"親機応答"認識を行っています。
- c. 本装置は子機スピーカーに音を出力する為に、子機スピーカーのON制御を行っています。
- d. 特定機種に本装置を接続するとブザーのフィードバック時点で"親機応答"認識をしてしまいます。

2) 対処方法

- a. 本装置はパラメータにより子機スピーカーのON制御タイミングを指定可能です。

Type0:ブザーOFF、アナウンスON

親機の応答待ち時間後に子機スピーカーをONします。

Type1:ブザーON、アナウンスON

非常釘を押された時点で子機スピーカーをONします。

出荷時の設定

Type3:ブザーOFF、アナウンスOFF(ダイヤル完了)

ダイヤルを完了した時点で子機スピーカーをONします。

Type4:ブザーOFF、アナウンスOFF(相手応答)

相手が応答した時点で子機スピーカーをONします。

4.2.4 インターホンの子機選択(6V・24V・単局・多局共に操作下さい。)

1) 子機選択

- a. "#n"(n=1-4)を電話機より入力することで子機の切り替えができます。
 - #1 1号機と通話
 - #2 2号機と通話
 - #3 3号機と通話
 - #4 4号機と通話
- b. "#0n"(n=1-4)を電話機より入力することで子機を追加ができます(会議)。
 - #01 他号機との通話に1号機を追加する
 - #02 他号機との通話に2号機を追加する
 - #03 他号機との通話に3号機を追加する
 - #04 他号機との通話に4号機を追加する
- c. "#9"を電話機より入力することで選択中の子機を解除できます。

4.3 データ発信制御

4.3.1 動作概要

データ発信要因を検出するとコールセンターに自動的に通知します。

1) データ発信要因の検知

- a. ポートアラーム検知。
- b. メンテナンススイッチ(ホ'タツ)によるメンテ開始、メンテ終了検知。
- c. インターホンの非常卸検知。(インターホンアラーム)
パラメータの設定内容により発信しない場合があります。

2) データ発信

- a. データ発信要因の検知をするとコールセンターの監視PCに発信します。
- b. 監視PCが応答すると下記のデータを送信後に回線を切断します。
Sakura ID : 監視装置を識別する為の一意のコード。
通知内容 : データ発信要因と詳細データ。

4.3.2 発信制御

1) 複数箇所の発信先電話番号

- a. 最大5箇所のデータ通信用発信先電話番号を登録可能です。
- b. 1箇所あたり20桁の電話番号を登録可能です。
- c. 電話番号には数字('0' - '9')と'#'が指定可能です。
- d. '#'は電話番号の桁間のポーズ時間(3秒)として処理します。

2) 発信の再試行

- a. ダイヤル後、以下の状態の場合は再試行を行います。
 - 話中(回線ビジー、相手使用中)
 - 規定の応答待ち時間(*1)以内にコールセンターが応答しない
- b. 登録されている複数の電話番号のすべてに対して発信することをサイクルと呼びます。
- c. 再試行は規定サイクル(*2)で指定された回数行い、それでもダメな場合は中止します。
- d. 電話番号間は次回線待ち時間(*3)で指定された待ち合わせをします。
- e. サイクル間は次サイクル待ち時間(*4)で指定された待ち合わせをします。

*1 応答待ち時間	標準 30 秒
*2 規定サイクル	標準 4 サイクル
*3 次回線待ち時間	標準 30 秒
*4 次サイクル待ち時間	標準 30 秒

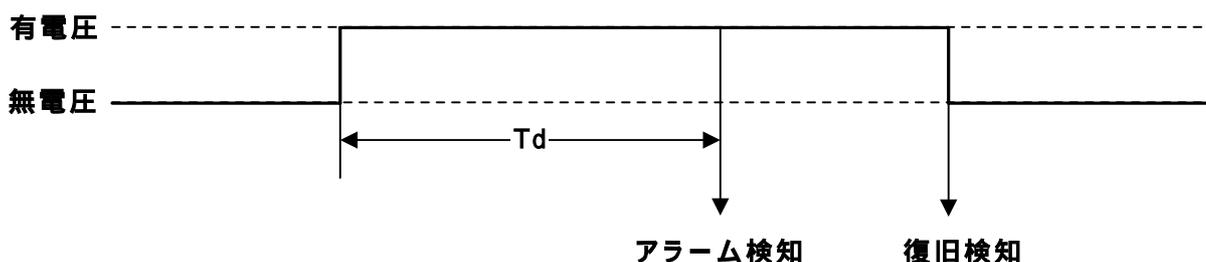
4.3.3 ポートアラーム

1) ポートアラーム検知

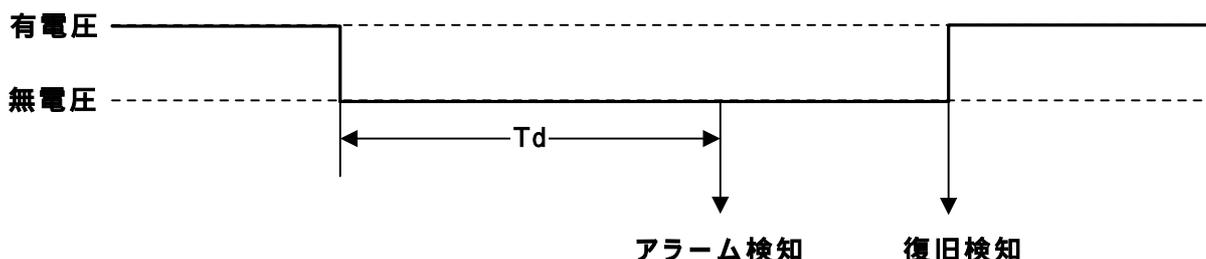
- 各ポート毎に指定したポートアラーム検知パラメータに従って検知を行います。
- 信号極性パラメータ(*1)。
 - 0:通常 無電圧時をOFF、有電圧時をONと見なします。
 - 1:反転 有電圧時をOFF、無電圧時をONと見なします。
- 検知時間パラメータ(*2)。

アラームとして検知するまでのON継続時間(Td)を秒で指定します。

【信号極性 = 0:通常】



【信号極性 = 1:反転】



2) ポートアラーム発信抑止

- ポートアラーム発信後、マスク時間(*3)パラメータで指定した時間は検知を行いません。
- ポート種別(*4)がアラーム対象外の場合はアラーム検知を行いません。
- 発信抑止(*5)が抑止中の場合は、アラームを検知しても発信しません。

3) 復旧信号

- ポートアラーム発信後、マスク時間(*3)内に監視信号が正常に戻った場合、復旧信号と検知してコールセンターに復旧発報を行います。(上記図参照)

*1信号極性	ポート毎 標準 0:通常	設定ツールで設定可能
*2検知時間	ポート毎 標準 2秒	設定ツールで設定可能
*3マスク時間	ポート毎 標準 60分	設定ツールで設定可能
*4ポート種別	ポート毎 標準 アラーム対象	設定ツールで設定可能
*5発信抑止	ポート毎 標準 抑止しない	設定ツールで設定可能

4.3.4 保守開始、保守終了

1) 保守開始検知

- a. モニタ中(非保守中)に保守釦を検知時間(*1)以上押されると検知します。
- b. 検知後、保守開始発信遅延時間(*2)を経過するとコールセンターの監視PCに「保守開始」を発信します。
- c. 「保守開始」を発信後、各アラームを検知してもアラーム発信は行いません。

2) 保守終了検知

- a. 保守中に保守釦を検知時間(*1)以上押されると検知します。
- b. 検知後、保守終了発信遅延時間(*3)を経過するとコールセンターの監視PCに「保守終了」を発信します。

3) 「外付けメンテナンス スイッチ」を取り付けた際の保守開始(オプション)

- a. オプションの外付けメンテナンス スイッチを主基板に取り付ける。
- b. 設定ツールでメンテナンスボタン 外付けメンテナンス スイッチに切り替える。
- c. スイッチを「1」側に倒すと、保守開始発信遅延時間後(*2)にコールセンターの監視PCに「保守開始」を発信します。

4) 「外付けメンテナンス スイッチ」を取り付けた際の保守終了(オプション)

- a. スイッチを「0」側に倒すと、保守終了発信遅延時間後(*3)にコールセンターの監視PCに「保守終了」を発信します。

5) 保守開始中の非常ボタン押し下げ発報(ホットライン)

- a. 保守開始中にかご中から非常ボタンを押すと予め設定されていた「保守中の通話先指定」電話番号へ連絡が取れます。メンテナンス会社技術部へのホットラインとしてご使用頂けます。
予め設定ツールにて保守中の通話先指定及び保守中通話電話番号の入力が必要です。

*1保守検知時間	標準 5秒	設定ツールで設定可能
*2保守開始発信遅延時間	標準 5秒	設定ツールで設定可能
*3保守終了発信遅延時間	標準 30秒	設定ツールで設定可能

4.4 着信制御

1) 自動応答

- a. 自動応答RING回数(*1)で指定された回数で本装置は応答をします。

2) 応答種別

- a. 本装置はパラメータにより外部からの着信時の応答種別を指定可能です。

Type0 : 音声モードで応答

Type1 : 自動判別モードで応答

Type2 : データモードで応答

Type3 : 応答しない

- b. 出荷時の設定は”Type1 : 自動判別モードで応答”です。

3) インターホンの子機選択

- a. 設定ツールのパラメータ設定によって外部からの着信時のかご内子機インターホン接続方法を指定できます。

子機への接続方法 0 : 自動 : 自動的に1号機を選局する。

1 : 手動 : 電話機より子機選択コマンドを入力する必要があります。

4.2.4 インターホンの子機を選択

2 : 半自動 : 接続遅延時間後(*2)に1号機を選局する。

*1 自動応答RING回数

標準 4回

設定ツールで設定可能

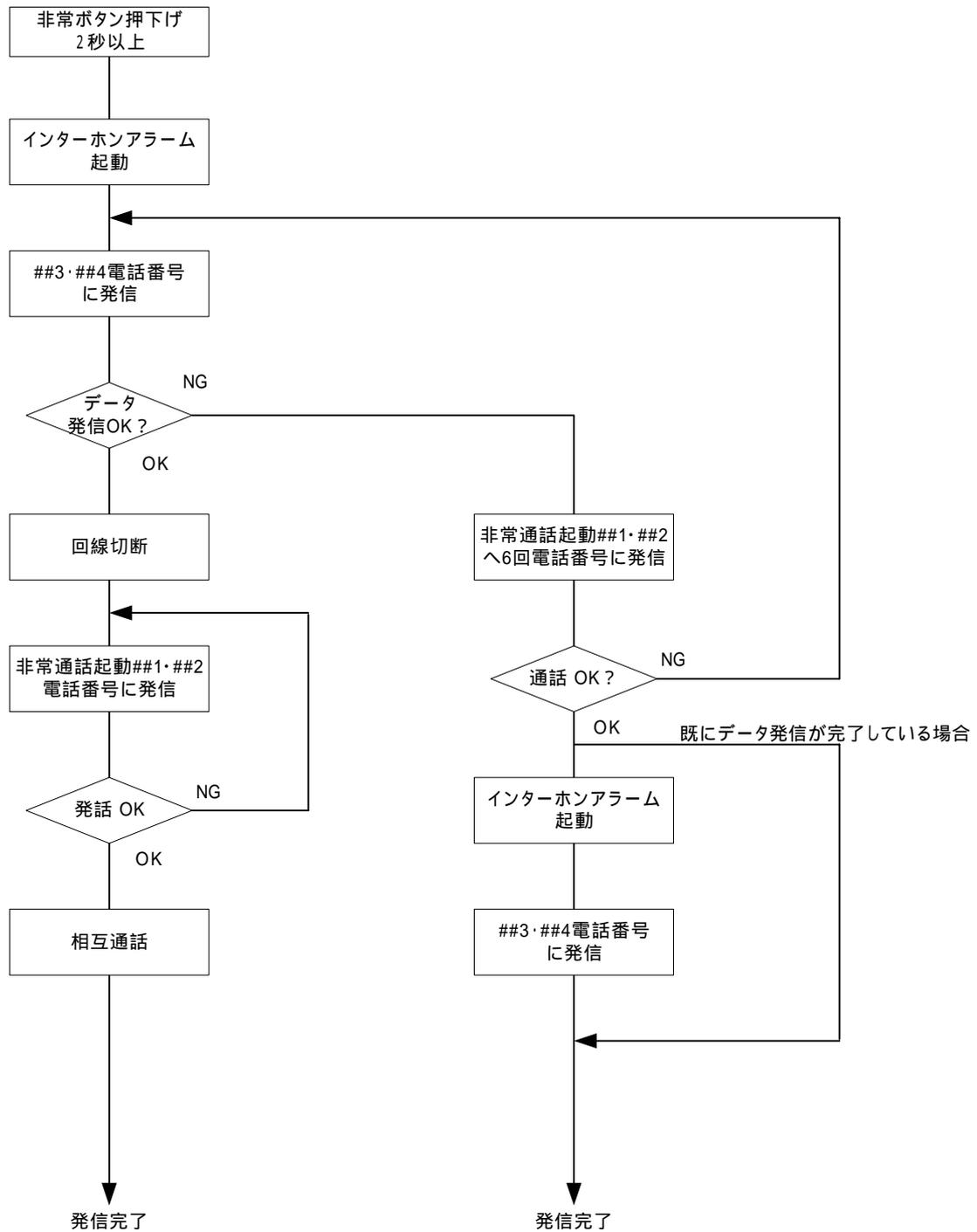
*2 接続遅延時間

標準 10秒

設定ツールで設定可能

4.5 インターホン押し下げ発報制御

- 1) 本機は、インターホンの非常ボタンが押されると、下記の制御フローに従って発報されます。
(工場設定の場合)



4.6 DTMFコマンド

コールセンター側電話機よりDTMF信号を使用して本装置の設定及び操作を行うことができます。

4.6.1 設定コマンド

- 1) ログイン(##0)
 - a. 遠隔設定に先立って本装置にログインする為のコマンドです。
- 2) 音声発信先電話番号登録(##1、##2)
 - a. 電話番号を登録するコマンドです。
- 3) データ発信先電話番号登録(##3、##4)
 - a. 電話番号を登録するコマンドです。
- 4) Taroid登録(##5)
 - a. Taroidを登録するコマンドです。

【Taroidとは】

- 設置者が本装置に対して任意に付与できる固有番号(識別番号)です。
- Taroidは非常通話時にコールセンタ側電話機に自動的に音声で通知します。
- 設置者が本番号に対応した現場名情報をパソコン等で管理されている場合は、本番号から現場を特定することが出来ます。
- 本装置では”現場名アナウンス”機能を使用して現場を特定することもできます。

- 5) 親機応答待ち時間設定(##6)
 - a. 親機応答待ち時間(秒)を設定するコマンドです。
- 6) Taroモード設定(##7)
 - a. Taroモードを設定するコマンドです。
 - b. 以下に示す設定項目があります。
 - ダイヤル種別(PB ; 10PPS ; 20PPS) DS6B-P-***タイプでは無効です
 - 発信モード
 - 応答種別
 - 子機スピーカー制御種別
- 7) かが内アナウンス録音(##8)
 - a. かが内アナウンスを録音するコマンドです。 「只今センターに接続中です。暫くお待ち下さい。」
- 8) 現場名アナウンス録音(##9) 例: 「新横浜ビルからの発報」
 - a. 現場名アナウンスを録音するコマンドです。

4.6.2 操作コマンド

- 1) 現場名アナウンス再生指示(##*)
 - a. 現場名アナウンスの再生を指示するコマンドです。
- 2) 子機選択(#1、#2、#3、#4、#01、#02、#03、#04、(#9解除))
 - a. 子機の選択を指示するコマンドです。

4.7 機能表

Sakura6 Plus装置の各機能表を示します。

機能表(1/1)

区分	No.	内容	Sakura6 Plus	Sakura6
非常通話機能 (eVoice)	1	非常通話装置 機能		
	2	かご号機アナウンス機能		
	3	話中もしくは接続不可時、自動転送機能		
	4	Taro_ID自動音声アナウンス機能		
	5	インターホン親機応答時、発報停止機能		
	6	ダイヤルシーケンス機能		
	7	インターホンアラーム(非常ボタン押下アラーム)		
	8	自動ダイヤルシーケンス機能		
	9	通話時間経過警告音(音声通話時間が経過する時の警告音)		
	10	リモートパラメータ設定機能		
	11	##0 ログイン・パスワード機能		
	12	##1・2 非常通話 発報先電話登録機能1~2		
	13	##3・4 データ通信 発報先電話登録機能		
	14	##5 Taro_ID 登録機能		
	15	##6 非常ボタン感知後発報遅延時間設定機能		
	16	##7 モード設定機能		
	17	##8 かごアナウンス録音機能		
	18	##9 現場名アナウンス録音機能		
	19	**30n 非常通話・発報先電話登録機能3~5 n=3~5		×
	20	**31n データ通信 発報先電話登録機能3~5 n=3~5		×
	21	**320nn 非常ボタン押し下げ検知時間の設定		×
	22	**371n 発報優先順位設定 n=0データ優先, 1直話のみ, 2直話優先		×
	23	**372n 現場名通知種別レベル 再生設定 n=0~3		×
	24	**381X かごアナウンス切替え設定 X=0(標準), X=1(1-サ'-)		×
	25	**830n 非常通話 発報先電話番号を音声再生 n=3~7		×
	26	**831n データ通信 発報先電話番号を音声再生 n=3~5, 8~9		×
	27	**838n かごアナウンス設定内容をアナウンスにてお知らせ		×
	28	**901 通話時間延長機能 (コマンド入力時4分延長,1回のみ)		×
	29	**800n ##1~##9設定内容を音声再生 n=1~9		×
	30	**3800 かごアナウンス消去時呼び出し機能		×
	31	**8320 非常ボタン押し下げ検知時間を音声アナウンスでお知らせ		×
	32	**8371 発報優先順位を音声アナウンスでお知らせ		×
	33	**8372 現場名通知種別を音声アナウンス		×
	34	**8701n メンテナンスモード取得 アナウンス		×
	35			
	36			

機能表 (1/1)

区分	No.	内容	Sakura6 Plus	Sakura6
遠隔監視 (eAlarm)	1	メインモジュール パラレルポート接続アラーム機能		
	2	マルチプレックス パラレルポート接続アラーム機能		×
	3	設備監視装置 ビルディングオプション アラーム機能		×
	4	温度アラーム		×
	5	温度アラーム 高温アラーム		×
	6	温度アラーム 低温アラーム		×
	7	温度アラーム 温度復旧アラーム		×
	8	温度アラーム シリアルアラーム		×
	9	システムエラーアラーム		×
	10	復旧信号		×
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			

機能表 (1/1)

区分	No.	内容	Sakura6 Plus	Sakura6
遠隔保守 (eMonitoring)	1	リモートメンテナンスモード切替 (**701)		×
	2	優先順位 低レベルアラームマスク リセット機能		×
	3	リモートリンクコマンド		×
	4	メンテナンスタイムアウト (システムアラーム)		×
	5	Notification メッセージ		×
	6	リモートパラメータ設定		×
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			
	21			
	22			
	23			
	24			
	25			

機能表 (1/1)

区分	No.	内容	Sakura6 Plus	Sakura6
遠隔操作 (eControl)	1	パラレル出力 データコミュニケーション		×
	2	パラレル出力 DTMF 操作 **702np*#		×
	3	テスト トリップ機能		×
	4			
	5			
	6			
	7			

機能表 (1/1)

区分	No.	内容	Sakura6 Plus	Sakura6
システム機能 (System)	1	NLE - Bus 通信		×
	2	メンテナンスモード		×
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			

5. 製品形態

1) 出荷時の内容

- a. 本装置本体
- b. 付属品 (型番により異なります)
 - ・ACアダプター (含むバッテリー)
 - ・アンテナ (内部型 or 外部型)

表5.1-1 型番毎の出荷内容

回線種別	型番	通信モジュール	電源モジュール	備考
PHS回線	DS6B-P-AB*	PHS + 外部アンテナ	ACアダプタ(含むバッテリー)	
	DS6B-P-AN*	PHS + 外部アンテナ	無し(客先DC9V入力)	
	DS6B-P-NB*	PHS + 内部アンテナ	ACアダプタ(含むバッテリー)	
	DS6B-P-NN*	PHS + 内部アンテナ	無し(客先DC9V入力)	
NTT回線	DS6B-M-NB*	Modem	ACアダプタ(含むバッテリー)	
	DS6B-M-NN*	Modem	無し(客先DC9V入力)	

2) ケース

- a. ケースに内蔵される物 (型番により異なります)

基板

PHSユニット(基板上に実装)

PHS用内部アンテナ (PHSユニットに実装)

バッテリー (基板の下に実装)

- b. 寸法

245mm (L) × 195mm (D) × 60mm (H) (取り付け部含まず)

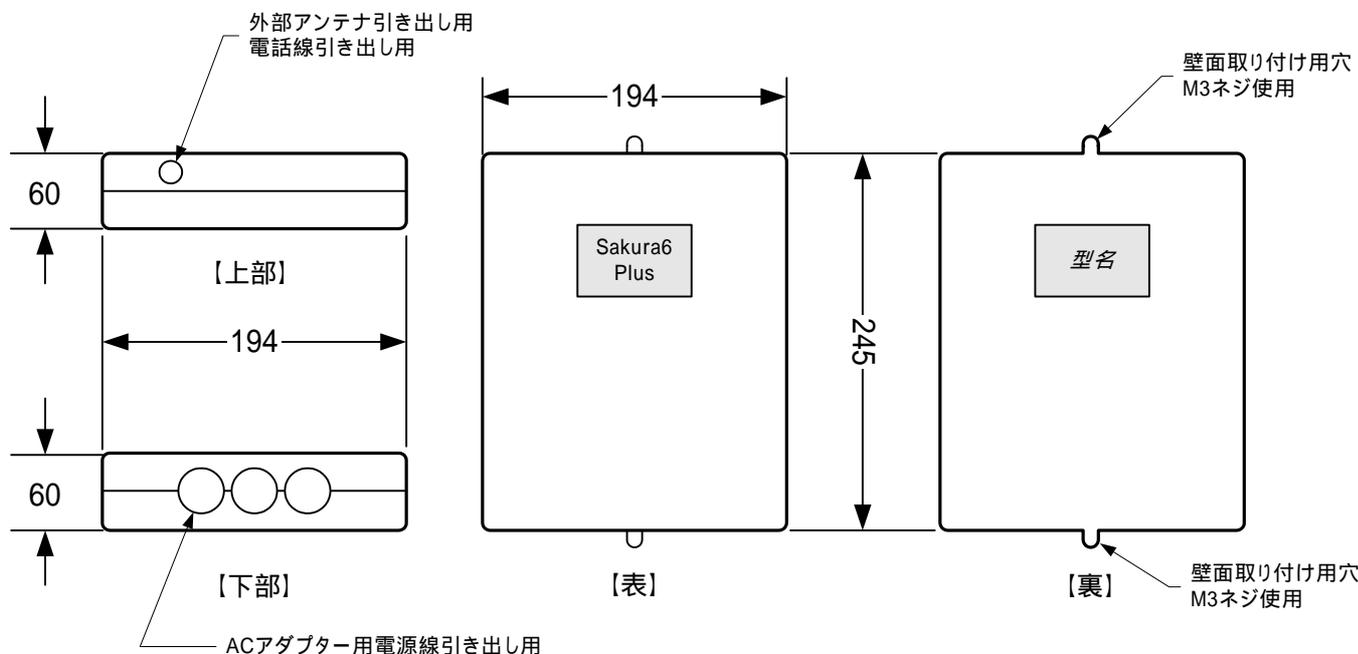


図5.2-1 ケース

3) オプション品

- a. 外付け用メンテナンス スイッチ
- b. 設定ツール接続用ケーブル
- c. 温度センサー
- d. 接点出力2Pコネクター
- e. PHS中継ケーブル (7m)

6. 技術情報

6.1 装置仕様

1) 動作環境仕様

表6.1.1-1 動作環境仕様

項目	仕様	
動作温度	0 ~ +45	
保存温度	-20 ~ +60 (梱包状態で)	
動作湿度	30 ~ 80%	
保存湿度	5 ~ 95% 結露なきこと(保存は保管梱包状態であること)	
温度上昇	+15 以下であること、ただし放熱器などは除く	
周囲雰囲気	腐食ガスがないこと、一般事務所程度	
漏洩電流	3.5mA以下	
絶縁抵抗	DC 500Vの試験電圧により3M 以上の絶縁抵抗であること。	
絶縁耐力	AC 1000Vの試験電圧により1分間耐えること。 または、AC 1200V試験電圧により1秒間耐えること。	
電圧変動	定格電圧 \pm 10%で誤動作しないこと。	*1
始動電圧	定格電圧の85%、115%での電源投入動作が正常に行なえること。	
瞬断	90% 0% 90%の瞬断で1サイクル継続しても正常に動作すること。	
突入電流	コールドスタートおよび、ホットスタート 42A以下、持続時間0.5秒以下	

*1 ACアダプターを使用した場合(DS6B-**-B*)

2) 一般仕様

表6.1.2-1 一般仕様

項目	細項目	仕様	
電源	DC電源	DC9V \pm 0.5V、MAX600mA	*1
	AC電源	AC100V \pm 10% 100VA	
電池	種類	ニッケル水素電池 7.2V 1300mAh	*2
	充電方式	トリクル充電	
	停電補償時間	30分以上	
	交換時期	2-3年	
耐振動		JIS C 0911準拠	
耐衝撃		JIS C 0912準拠	
発生塵埃		なきこと	
外形		245(L) x 195(D) x 60(H) 突起物はふくまない	
重量			

*1 客先DC9Vを使用した場合(DS6B-**-N*)

*2 ACアダプターを使用した場合(DS6B-**-B*)

3) 通信仕様

表6.1.3-1 通信仕様

通信モジュール	項目	仕様
NCU (Modem機能)	適用回線	NTT公衆回線
	接続コネクタ	RJ 11 (モジュラー6極2芯)
	選択信号	DP (10PPS/20PPS) PB
	直流抵抗	334
	網制御機能	自動 (AA)
	自動発信・リダイヤル機能	有り
Modem	通信方式	V22bis準拠
	同期方式	非同期
	変調方式	QAM(2400bps)
	通信速度	2400bps
	送信レベル	-9dbm
	受信レベル	-9dBm ~ -43dBm
	不感動受信レベル	-45dBm
	技術基準適合番号	A08-0133004
PHS (PAU-702)	周波数帯	1884.65MHz ~ 1919.45MHz
	通信方式	時分割多元接続方式を使用する時分割複信方式
	伝送速度	384kbit/s
	技術基準適合番号	A06-0213001, 001JXAA1138

7. 特記事項

1) 電源モジュール無しタイプ (DS6B- * - * N *)

a. 外部電源 (DC9V) 要求仕様

- ・無停電保証電源であること。
- ・DC9V \pm 0.5V (電流容量100mA ~ 600mA)、リップルノイズ50mV以下、ピークノイズ無きこと。

2) Modemタイプ (DS6B-M- * * *)

本装置の直流回路の抵抗値は334 Ω です。

線路抵抗条件によってはご使用できませんのでご注意ください。

3) 特殊インターホンタイプの接続について

下記インターホンの接続については、「T001 292J Sakura6 Plus 取り扱い説明書-取付け編」を参照して下さい。

- 日本インターフォン社製 6V多局 OEM(EHSタイプ)インターホンシステム
- 日本インターフォン社製 6V多局 OEM(RGタイプ)インターホンシステム

8. 関連資料

T001 187J NLE製品 取り扱い説明書-安全のしおり

T001 291J Sakura6 Plus 取り扱い説明書-設定ツール編

T001 292J Sakura6 Plus 取り扱い説明書-取付け編

T001 294J Sakura6 Plus 取り扱い説明書-製品概要編 (本資料)